

## 次期の見通し及び事業等のリスク

### 次期(2012年3月期)の業績の見通し

(2011年5月現在)

日本経済は、東日本大震災の影響で当分の間低迷すると予想され、世界経済も、一部では日本での生産低迷の影響で自動車産業をはじめ多くの産業で部品調達遅れの問題による停滞が予想されます。

当社を取り巻く市場環境も、販売先である製品市場での素材や部品不足に伴う市場環境の悪化等、先行き不透明な状況であり、将来の業績を見込むことは大変困難な状況でありますので、レンジ形式で以下を現時点での業績見込みといたします。

売上高 260,000百万円～285,000百万円

営業利益 21,000百万円～24,500百万円

当期純利益 11,000百万円～13,000百万円

先行きの状況がはっきりとした段階で、見込みの修正を行いたいと考えております。

セグメント別の通期見通しは、次のとおりです。

#### 機械加工品事業

主力製品であるボールベアリングは、期の前半には震災の影響が見込まれますが、期の後半には各主要市場からの需要の拡大を見込んでおります。タイの新工場が立ち上がり生産能力を増強しますので、自動車業界・情報通信機器関連業界等への積極的な拡販を進め、拡販に伴う量産効果と更なるコスト削減により、一層の業績向上を目指します。

#### 回転機器事業

情報モーター事業は、新規市場の開拓に努め、引き続き生産効率改善、製品構成の見直し及び新たに立ち上げたカンボジア工場での量産を進め一層の業績向上に努めます。また、市場占有率の低いHDD用スピンドルモーターは、販売先であるハードディスク業界の成長にやや不透明な部分がありますが、原価低減に努め業績の改善を目指します。業績の回復は期の後半を見込んでおりますが、回転機器事業として黒字化を目指します。

#### 電子機器事業

液晶用バックライトは中国蘇州工場の早期立ち上げにより、生産、販売を積極的に拡大し、業界トップシェアを目指します。

#### その他の事業

特殊機器及びキーボード各事業は安定した事業展開が見込まれますが、唯一損失を計上しているスピーカー事業の改善をはかり、全体業績の向上に努めます。

## 事業等のリスク

当社グループの経営成績及び財政状態等に影響を及ぼす可能性のあるリスクを次のように考えております。なお、文中の将来に関するリスクは、有価証券報告書提出日(2011年6月29日)時点において、当社グループが判断したものです。

### (1)市場環境

PC及び周辺機器、情報通信機器、家電を中心とする当社製品の主要市場は、国内外において競争が非常に激しく、需要が大きく変動するため、経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### (2)為替変動

当社グループは海外売上高比率及び海外生産高比率が高いため、為替相場の変動によるリスクがあります。このため為替予約を中心とするリスクヘッジ取引を行っておりますが、長期的には為替変動により経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### (3)研究開発

新規製品・高品質製品を市場に継続的に投入する必要があるため研究開発を行っておりますが、研究開発の成果は不確実なものであり、多額の支出を行ったとしても必ずしも成果に結びつかないというリスクがあります。

### (4)重要な訴訟等について

国内及び海外事業に関連する訴訟等の対象となるリスクについては、法務部門が一括して管理しております。将来、重要な訴訟等が提起された場合には当社グループの経営成績及び財政状態等に重要な悪影響を及ぼす可能性があります。

### (5)価格交渉

海外製の低価格製品との価格競争は大変厳しいものとなっており、低品質、低価格のニーズを持つ市場では市場シェアを維持・拡大できない可能性があります。

### (6)原材料費・物流費等のコスト

外部からさまざまな原材料等の調達を行っており、在庫量の最適化、安定供給と安定価格の継続をはかっておりますが、原材料等の価格上昇が経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### (7)海外進出に潜在するリスク

当社グループの生産の多くは、タイ、中国、シンガポール等海外で行われております。海外進出後、長期間が経過し、地場との融合が行われておりますが、予期しない法律又は規制の変更、人材の採用と確保の難しさ、テロ・戦争及びその他の要因による社会的混乱といったリスクが内在しております。